

製品名: RASA1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03182**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.43mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 116 kDa; Observed MW: 140 kDa

抗原情報

遺伝子名	RASA1
別名	GAP; PKWS; RASA; p120; CMAVM; CM-AVM; CMAVM1; RASGAP; p120GAP; p120RASGAP
遺伝子 ID	5921
SwissProt ID	P20936
免疫原	ヒト RASA1 の合成ペプチド

背景

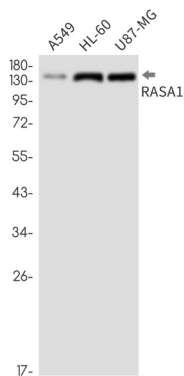
この遺伝子によってコードされるタンパク質は細胞質に存在し、GTPase 活性化タンパク質の GAP1 ファミリーに属します。この遺伝

子産物は、正常な RAS p21 の GTPase 活性を刺激しますが、その発がん性対応物の GTPase 活性は刺激しません。このタンパク質は RAS 機能の抑制因子として働き、RAS タンパク質の弱い内在性 GTPase 活性を増強し、不活性な GDP 結合型 RAS をもたらし、それによって細胞の増殖と分化を制御できます。いずれかのタンパク質の結合部位の変化につながる変異は、基底細胞癌に関連しています。また、変異は、動静脈奇形 (AVM) を伴うまたは伴わない遺伝性毛細血管奇形 (CM) およびパークス・ウェーバー症候群にも関連付けられています。選択的スプライシングによって 2 つのアイソフォームが生成され、N 末端疎水性領域を欠いているが同じ活性を保持する短いアイソフォームは、胎盤組織で豊富に発現しているように見えますが、成体組織では豊富に発現していません。

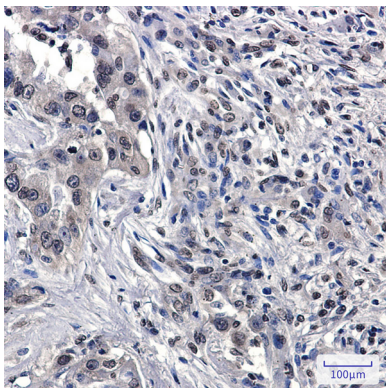
研究分野

シグナル伝達

画像データ



RASA1 抗体を使用した A549、HL-60、U87-MG 溶解物中の RASA1 のウエスタンブロット分析。



RASA1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。